

多摩市雨水対策方針（素案）パブリックコメント実施結果

■実施期間：令和7年12月15日（月）から令和8年1月13日（火）まで

■提出件数：1件（内訳：専用フォーム1件、ファクシミリ0件、直接持参0件、意見投函箱0件）

No.	意見	市の考え
1	<p>多摩市雨水対策方針（素案）を拝見いたしました。近年起こっている大雨や台風災害においては災害の規模が激甚化しており国を挙げての災害対策が重要になっていると思います。多摩市内には国の管理する多摩川、都の管理する乞田川、大栗川があり国と都と市の連携による治水対策が必須であると考えます。今回、策定された雨水対策方針（素案）については都に対策を整合を図る旨が記載されており現状の時間50ミリ対応を超える対策が提示されており激甚化する浸水被害に取り組む姿勢が評価できると感じます。「排水施設の整備」においては優先グループ1である関戸・一ノ宮地区においては通常時から地下水位も高く、数年に1度程度の大雨でも地下施設などが浸水する建物などもあり早急な対策が必要と思われれます。「流域対策の取組み」においては公共用地における貯留・浸透施設の導入、透水性舗装の導入が挙げられておりますが、この対策においては多摩市は都内随一の公園面積を誇ることから公園施設内に積極的に導入することが浸透面積の増加につながると感じます。また市内にはペDESTリアンデッキも多く歩道面積も多いので透水性舗装の導入も効果的と感じます。多摩市各課の協力を持って取り組んでいただければと思います。「ソフト対策」においては内水ハザードマップの作製は大雨時に冠水しそうな道路の迂回などが出来るので市民として欲しい情報になると思います。一般の市民の方は外水氾濫・内水氾濫の違いがわかりづらいかと思いますが、こういった事も広く市民に周知していただければと思います。「一人ひとりができること」については市の治水対策や情報をHPだけでなく学校教育やイベントなどを通じてわかりやすく伝えていただければと思います。</p>	<p>治水対策は国や都と市が連携し、市民の皆様のご協力を頂きながら進めてまいります。</p> <p>「排水施設の整備」においては、関戸・一ノ宮地区は優先グループ1として、優先的に治水対策を進める方針です。</p> <p>「流域対策の取組み」においては、貯留・浸透施設の導入、透水性舗装等の導入については、各課で協力して取り組む方針です。今後の検討を行う上で具体的な役割体制を定めることを予定しています。関係課と協力し、公園施設や歩道、遊歩道、学校等での導入も具体的に検討を進めてまいります。</p> <p>「ソフト対策」における内水ハザードマップについては現在、作成・公表に向けて取り組みを進めています。</p> <p>内水ハザードマップ等で外水氾濫・内水氾濫の違いについても公式ホームページなどで情報発信を行う予定です。</p> <p>また、学校教育や公共施設でパネル展示等での普及啓発活動も引き続き行ってまいります。今後も取り組みを継続するとともに、機会の拡大や分かりやすい発信に努めてまいります。</p>